

## 友達と関わり合いながら学ぶ大切さ

校・園長 鎌田 明美

児童・園児の皆さん、卒業、卒園、そして進級おめでとうございます。

今年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策に終始した一年となっていました。保護者の皆様には、日々の検温等にご協力をいただき、行事等の度重なる変更や中止についてご理解をいただいております。厚く御礼申し上げます。これらの状況の中で、子どもたちは一年間、毎日マスク・手洗い・消毒に気を配り、夏は熱中症に気を付けながら冬は換気の寒さにも対応しながら、本当によくがんばりました。学校生活で欠かせないのが友達との関わりですが、学校・園が臨時休業したり、再開してもグループ活動やペア活動が制限されたりして、友達と近距離で直接対話ができにくい状況になりました。このような、友達とのコミュニケーションがうまくとれない生活になったことで、友達との関わり方の大切さを今まで以上に強く感じる事ができたといえるでしょう。

今年度は、国のGIGAスクール構想がコロナ禍により一気に加速しました。GIGAスクール構想とは一言でいうと、「児童生徒向けの一人一台端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備し、多様な子どもたちを誰一人取り残すことなく、公正に個別最適化された創造性を育む教育を、全国の学校現場で持続的に実現させる構想」です。これを受けて葛城市内の小学校では、十二月に五・六年生の、一月に一・二・三・四年生のタブレットが納品されました。初めて自分持ちのタブレットを手に取った子どもたちは、さらさらと目を輝かせ、わくわく感にあふれていました。そして、インターネットを使っている調べ学習、教員の手作り動画やデジタル教材を視聴しての個別学習、子どもたち作成の動画やデータを教員や友達と共有する学び合い学習など、各学年に応じた活用をどんどん進め、子どもたちは、それらに意欲的に取り組んでいます。

GIGAスクール構想では「個別最適化された教育」とうたわれていますが、「個別最適化された学び」が「孤立化された学び」にならないように、「協働的な学び」をしっかりと組み合わせて進めていかなくてはなりません。先でも述べましたように、園・学校での友達との関わりは、子どもたちの豊かな成長において欠かせないものです。同じ空間で時間を共にすることで、お互いの感性や考え方等に触れ刺激し合うことができます。子どもたち一人一人のよい点や可能性を生かすことでいろいろな考えが出され、それが組み合わせることによって、より深い学びを生み出していきます。タブレットというツールを使って、学び合い学習を進めることも一つの方法です。しかしながら、直接友達と関わり合い、様々な場面でリアルな体験を通して学ぶことも大変重要です。



今こうして、卒業、卒園、進級と節目を迎え、子どもたちの一年の成長を喜び合うとともに、4月からの新しいスタートに際し、これからも友達との関わりの中で様々な体験をし、自分たちの可能性をどんどん発揮し、意欲を高めてステップアップしてほしいと期待するところです。児童・園児の皆さんのさらなる成長を願っています。